

リーグ戦のやり方

横浜地区高体連テニス専門部

1、試合の組み方

- (1) 日程；原則、7月13日（土）、14日（日）、15日（月祝）、20日（土）、21日（日/予備日）で試合を組む。天候等で都合がつかない場合、大会事務局に連絡する。
- (2) 時間；1セットマッチ（ノーアドバンテージ方式）1試合約40分。従って、5ポイントの場合、1戦1面なら3～3.5時間。2面なら2時間。但しこれより長くかかる場合もある。
- (3) 1日に消化できる試合数（5ポイント）
 1面・3戦 2面・6戦 3面・9戦
 ※1校が行う試合は、原則1日につき2試合までとする。
- (4) 6校すべて同時に集まらなくてもよい。
 例：1日に4校集まったら、その4校での対戦のみ消化し、後日残りの対戦を消化する。
- (5) 6校リーグの組み方の基本

第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦
A－F	A－B	A－C	A－D	A－E
B－E	C－F	D－B	E－C	F－D
C－D	D－E	E－F	F－B	B－C

* 以上の要素を元に試合を組む。詳しくは「リーグ戦対戦予定表」の例を参照。

例) 2面1会場が2.5日確保できる場合。

	1日目	2日目	3日目
9時～	A－F	A－C	A－E
10時～	B－E	D－B	F－D
12時～	C－D	E－F	B－C
13時～	A－B	A－D	
15時～	C－F	E－C	
16時～	D－E	F－B	

* 試合は2・3面同時展開で行い、空いたコートに次の対戦を入れていく。

- * 3会場（1～2面）が5日間確保できる場合（午前・午後に分ければ3日）、上の組み合わせで3会場で行う。
- * この他、試合が重複しないように、工夫して組んでほしい。
- * 試合を組む際、コートを持っている学校は、あらかじめ面数と男女の使用日を決めておくといい。
- 例；1日目－男子1面 2日目－女子2面

2、リーグ対戦表の書き方

横浜地区テニスリーグ 対戦表（記入例）																								
校名	対戦校名			柳 川							浦和学院							堀 越						
	ポイント	勝ち点	得失ゲーム	日時・会場を記入							7/14 9:00 柳川							7/14 15:00 柳川						
柳 川	勝	得ポイント	得失ゲーム	スコアを記入							7/14 9:00 柳川							7/14 15:00 柳川						
	点	点	ム	D1 D2 S1 S2 S3 P							D1 D2 S1 S2 S3 P							D1 D2 S1 S2 S3 P						
	5	20	15	2 4 6 6 6 2							1 0 3 6 3 1							6 6 6 4 6 4						
浦和学院	勝	得ポイント	得失ゲーム	7/14 9:00 柳川							7/15 9:00 堀越							7/15 9:00 堀越						
	点	点	ム	D1 D2 S1 S2 S3 P							D1 D2 S1 S2 S3 P							D1 D2 S1 S2 S3 P						
	1	8	-12	2 4 6 6 6 2							3 7 2 6 4 2							6 5 6 3 6 3						
堀 越	勝	得ポイント	得失ゲーム	7/14 15:00 柳川							7/15 9:00 堀越							7/15 9:00 堀越						
	点	点	ム	D1 D2 S1 S2							D1 D2 S1 S2							D1 D2 S1 S2						
	3	14	3	1 0 3 6 3 1							6 5 6 3 6 3							6 5 6 3 6 3						
				勝った試合数を記入（最後）							勝ったゲームと失ったゲーム数の差を記入（最後）							勝った対抗戦数を記入（最後）						
				6 6							6 4 2							6 4 2						

3、試合結果の連絡（複数会場の場合）

- (1) 試合が行われた日に、勝った学校（複数の試合が行われた場合は会場校）の顧問が、リーグ担当者に結果をメール等で連絡する。
- (2) リーグ担当者は全試合の結果を集約し、順位を算出する。
- (3) リーグ担当者は各校の顧問と全試合の結果と順位を確認する。
- (4) リーグ担当者は完成したリーグ勝敗表・試合結果記録用紙を大会事務局にメール等で送る。（大会事務局の連絡先は最後に記載）
- (5) その他、何か不都合が生じた場合、直ちにリーグ担当者に相談する。

4、順位の決め方

- (1) 5試合の内3試合以上勝ったチームに勝ち点1を与え(6人・5人のチーム同士の対戦では、両チームとも勝ち点なしの場合もありうる。)、勝ち点の多い順から1～6位まで並べる。
- (2-1) (1)が2チームで同点の場合は次のようにして決定する
 - ① そのチーム同士の対戦で勝った方の学校を上位とする(勝ち点の有無は問わない。例えば、A高校から2勝1敗ならば、A高校が上位。)
 - ② ①で決まらない場合は、その対戦での得失ゲーム(得ゲーム数-失ゲーム数)の値の大きい学校を上位とする。
 - ③ ②で決まらない場合は、S1が勝っている高校を上位とする。
- (2-2) (1)が3チーム以上で同点の場合は次のようにして決定する。
 - ① 得ポイントの多い学校を上位とする。
 - ② ①が同じ場合、得失ゲーム(得ゲーム数 - 失ゲーム数)の値の大きい学校を上位とする。
 - ③ ②も同じ場合、2チームなら直接対戦で勝った方の学校を上位とする。
3チーム以上の場合は当該校で再戦する。

5、日程変更のやり方(雨天等で試合が流れた場合)

予備日を設定し、雨天時も全チーム集合してその場で話し合うのがもっとも望ましい。それができない場合以下のようにする。

- (1) 当事校の顧問で連絡を取り、各校の都合の良い日時と、使用できるコートを確認する。
 - (2) 試合を組み直す。ただし、すでに予定されている試合は変更してはならない。
 - (3) 組み直す際に都合がつかない場合は会場を分割し、複数の日にまたがっても良い。また組み直す際は、1の試合の組み方を参考にせよ。
 - (4) 変更された日程をリーグ担当者に連絡する。
- * どうしても会場が確保できない場合は、リーグ担当者に相談すること。

6、リーグ担当者の仕事

- (1) 大会事務局より送られる「参加可能日程集約結果」等をもとに日程・会場を確定し、リーグ内の各校に日程・集合時間・会場を連絡する。
- (2) 「リーグ戦対戦予定表」を事務局にメールで報告する。
- (3) 全試合終了後、結果(リーグ勝敗表・試合結果記録用紙)を大会事務局にメールで報告する。

[送信先 fukada-2dt@pen-kanagawa.ed.jp 県立白山高等学校 深田峻史 宛]

7、その他

- (1) 不参加校はそのリーグの最下位として扱う。上位リーグに3校以上の不参加校がある場合、下位リーグの3校以上が昇格する。
- (2) 棄権した試合のスコアは6－0と見なす。
- (3) ボールの割り当ては各校均等に負担するように注意すること。ひとつの対戦5試合につき、1試合に1缶使用して、1校3缶用意すれば1缶余る。従って6校リーグでは1校15缶用意する。

大会事務局

県立白山高等学校 テニス部顧問 深田峻史

TEL (045) 933-2802

メール fukada-2dt@pen-kanagawa.ed.jp